

■登壇者略歴■

【クリス・フウリガン PhRMA 在日執行委員会（JBEC）委員長】

企業体質改善、サプライチェーン、生産、マーケティング、営業、事業開発、そして経営管理等、製薬企業に必要な様々な職務を経験した後、2016年1月より、ジョンソン・エンド・ジョンソンの医薬品部門であるヤンセンファーマの日本法人、ヤンセンファーマ株式会社の代表取締役社長に就任。それ以前は、ヤンセン オーストラリア&ニュージーランドのマネージング・ディレクターを務める傍ら、創薬重視型製薬企業で構成される『メディシNZ・オーストラリア』のメンバーとして、現地の産業を支援する重要な役割を担当。この他、同社のベトナム、ニュージーランド、米国の各関連法人でもリーダーシップを発揮した経歴を有している。2019年より米国研究製薬工業協会(PhRMA)在日執行委員会委員長を兼務。

【桜井 なおみ 一般社団法人 CSR プロジェクト代表理事】

東京生まれ。大学で都市計画を学んだ後、卒業後はコンサルティング会社にてまちづくりや環境学習などの仕事に従事。2004年、乳がん罹患後は、働き盛りで罹患した自らのがん経験や社会経験を活かし、小児がんを含めた患者・家族の支援活動を開始、現在に至る。

一般社団法人CSRプロジェクト代表理事、キャンサーソリューションズ(株)代表取締役社長、NPO法人HOPEプロジェクト理事長、として活動。技術士（建設部門）、社会福祉士、精神保健福祉士、産業カウンセラー。

【公務】

- ・第5期厚生労働省がん対策推進協議会委員
- ・元厚生労働省「がん患者・経験者の就労支援のあり方に関する検討会」構成員
- ・厚生労働省がん等における緩和ケアの更なる推進に関する検討会構成員
- ・首都大学東京認定看護師教育課程非常勤講師
- ・愛知県立大学看護実践センター非常勤講師
- ・公立大学法人和歌山県立医科大学保健看護学研究科非常勤講師（緩和ケア）

【受賞】

第21回人間力大賞会頭特別賞受賞、社会イノベーター公志園2012結晶大会出場。

【小黑 一正 法政大学経済学部教授】

1974年生まれ。京都大学理学部卒業、一橋大学大学院経済学研究科博士課程修了（経済学博士）。大蔵省（現財務省）入省後、財務省財務総合政策研究所主任研究官、一橋大学経済研究所准教授などを経て、2015年4月から法政大学教授。経済産業研究所コンサルティングフェロー。専門は公共経済学。現在は、世代間衡平や財政・社会保障を中心に研究している。

参議院「国民生活・経済・社会保障に関する調査会」意見陳述(2011.5)「財政・社会保障の再生プランー財政の持続可能性と世代間公平の同時達成に向けてー」参議院行政監視委員会「我が国財政の現状と政策上の課題」意見陳述(2012.3)「日本財政を巡る課題」